

アタッチメントについて(概要)

2012.8.14

1. 使用可否の判定

- (1) 「棚板が外れ易いかどうか」確認してください。
- ・棚板を簡単に持ち上げられる。
 - ・棚板と袖板を外れにくくする構造がない。
- [Yes]の場合:アタッチメントの使用対象です。 2.へ
[No]の場合:他の方法を考えてください。 5.へ

- (2) アタッチメントの正式名称は「棚板傾斜付加金具」です。
アタッチメントを袖板と棚板の接合部に取付け、
棚板を袖板から外れにくくするとともに
棚板上面を棚間口から棚奥に向って下がる傾斜面にし
地震動により、棚上の図書館資料が落下するのを抑制します。

2. 袖板と棚板の組付け方法と適応アタッチメント

(1) 差込み式 : F型アタッチメント

書架A

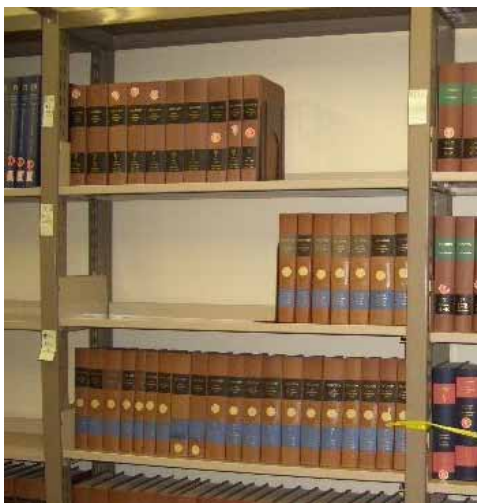


書架B



(2) はめ込み式 : L型アタッチメント

書架C



書架D



書架E



(3) 折衷式 : L型、F型アタッチメント

書架F



書架G



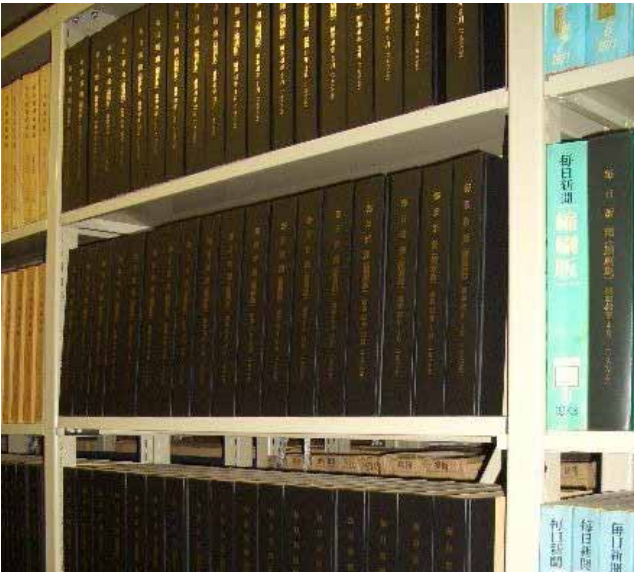
書架 H



書架 I



書架 J



書架 K



書架 L



書架 M



書架N



書架O



3. 注意事項

差込み式 & 折衷式

- アタッチメントのフックが棚板間口側折返しにかかっているか
- アタッチメントのフックが棚板間口側折返しから袖板側にはみ出していないか
- アタッチメントの穴が袖板の爪(中央)にはめ込まれているか
- 棚板側面が袖板の爪に差込まれているか

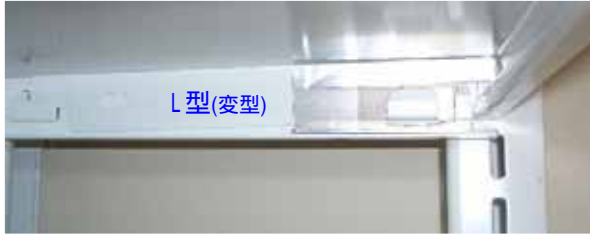
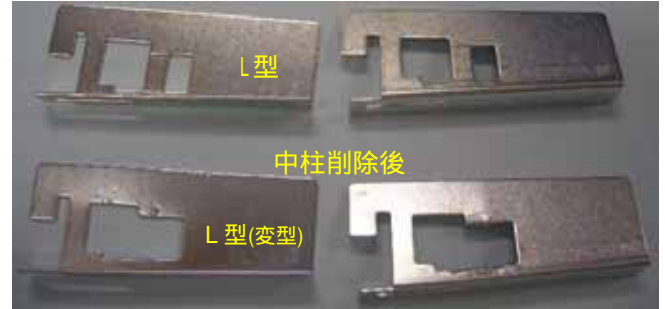
両面テープ(貼付例)

はめ込み式

- アタッチメントのフックが棚板間口側折返しにかかっているか
- アタッチメントの底面が袖板下部溝の上面に密着しているか



4. L型(変型)アタッチメント
書架P



5. 「ゴム板」取付けによる棚板傾斜面の形成
書架Q



書架R

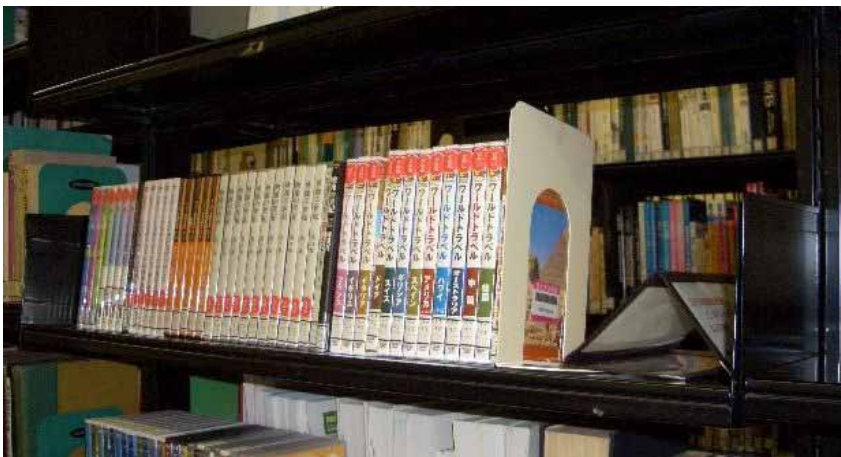


書架S



棚板と袖板が緊結している場合、棚板が袖板から外れる可能性は少ないので、支柱に差込む袖板の根元部にゴム板を差込んで傾斜をつける方法があります。(5mm厚程度のゴム板で傾斜面を形成できます。)

書架T



点線から半分に切って、両側から挟む方法もあります。